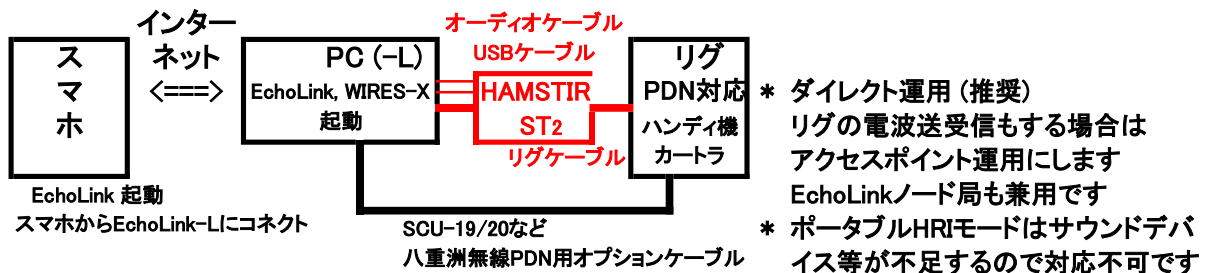


WIRES-Xのアナログノード局がポータブルデジタルノード(PDN)局と通信できないということで、EchoLinkとのゲートウェイ接続を構築して解決するものです。
D-STARについては、スマホ対応のプログラムRS-MS3がリリースされているので、EchoLinkとのゲートウェイ運用にこだわらなければシンプルにスマホ対応できます。



ポータブルデジタルノードモード(PDN)対応のリグを使用します。
このリグは、ハンディ機であれば、ヘッドセット(MIC, SP)端子に接続し、カートランシーバタイプであれば、フロントのMIC端子とリアのEXT.SP端子に接続します。
リアのデータ端子は八重洲無線のオプションケーブルを購入してPCに接続してください。
八重洲無線のサイトにあるマニュアルの通りに設定し運用します。

https://www.yaesu.com/jp/amateur_index/support/manual.html

2024年1月時点の最新版 : WIRES-X_PDFunction_OM_JPN_2304-L.pdf

WIRES-Xポータブルデジタルノードモード(PDN)の通信可能相手局

1. デジタルオープンルーム内の各局
2. デジタルノード局
3. ポータブルデジタルノード局
 - * WIRES-Xのアナログノード局とは通信不可です。
 - * DG-IDが[00]以外の場合は相手局に合わせる必要があります。
4. ゲートウェイ接続により、EchoLink側のアナログノード局やカンファレンス接続局と通信できます。FMノード局にハンディ機などからもアクセス通信できます。

ポータブルデジタルノードモードでの設定運用ができれば、次に、EchoLinkの設定に移ります。
WIRES-Xと同じ PCに EchoLinkもインストールして、この一台と PDNリグで運用します。

一旦、PDNモードは解除して通常モードに戻して、HAMSTIR STとリグで EchoLinkノード局を構築します。ノード局の運用ができれば、WIRES-Xとのゲートウェイ接続運用に進みます。

1. EchoLinkをダウンロードしてインストールします。
先に、免許状の画像(JPG写メ)を用意して、EchoLinkサイトで認証番号を申請取得します。
シングルユーザーモード(スマホ用)とシスオペモード(-L用)それぞれを取得します(無料)
2. HAMSTIR STをPCに接続して、COM番号を取得します。
3. EchoLinkを起動してノード局の設定をします。
詳細はHAMSTIR STの説明書を参照してください。RX ctrl画面では"VOX"にします。
リグにケーブルをつないで他のハンディ機などと通信出来ればノード局は完成です。
音量調整は各目盛り位置をいつも同じにします。
4. EchoLinkノード局のままで、リグをポータブルデジタルノードモードにします。
5. リグとWIRES-Xを起動して、ポータブルデジタルノード局を立ち上げます。
リグによって、起動方法が異なります。
これでEchoLinkとWIRES-Xのゲートウェイが開通です。相互の通信ができます。
EchoLinkノード局にはスマホ運用局をはじめ、他の局もコネクトできるので、混信対策としてコネクト局を限定するのも場合によっては必要かもしれません。
6. EchoLinkをインストールしたスマホでEchoLinkノード局にコネクトすることでWIRES-X接続局との通信ができます。

それぞれのノード局の構築は時間と慣れが必要です。一朝一夕にできるものではありません。
どちらかのノード局だけで数日間運用して慣れたところで次に進んでください。